

第2回アンケート調査「家族・家庭のあり方」

近年、核家族化や地域の結びつきの希薄化などに伴い、家族の結びつきや家庭の力が低下し、子どもに社会の基本的なルールを教えることができない大人が増えていると言われており、家庭を応援する様々な施策や制度のさらなる充実に加え、家族の絆を深め、家庭の力を高めていくことが求められています。

このような状況を踏まえ、兵庫県では、生きる力の根源となる家族、子どもが健やかに育つ場・家族の安らぎの場となる家庭、こうした家族や家庭づくりを応援する施策を展開していくため、県民モニターの皆さんのご意見をいただくことといたしました。

(参考資料1:「ひょうご家庭応援プログラム2007」<別ウインドウで開きます>)

アンケートは以下の6つのカテゴリーに分かれています。各カテゴリー画面の末尾に「次へ」ボタンと「クリア」ボタンを設けていますので、次のカテゴリーごとに切り替えてご覧ください。

- 1: 第2回アンケート調査「家族・家庭のあり方」(当画面)
- 2: (1) 家族の絆について
- 3: (2) 家族の絆を深める取り組みについて
- 4: (3) 家族・家庭の力を高める取り組みで県などに期待することについて
- 5: 登録ID及びパスワード入力画面
- 6: 記載内容確認画面

上記6の「記載内容確認画面」で記載済みの内容をご確認の上、末尾の「送信」ボタンを押していただければアンケートが完了します。

(利用上の注意)

- ・アンケートフォームの開設期間中は、何度でも回答をやり直すことができます。
- ・回答をやり直す際に送信済みの回答結果は再表示されません。全項目に改めて回答いただく必要があります。
- ・開設期間中、最後に送信した回答のみが県に登録されます。
- ・設問の中で別ウインドウ表示される「参考資料」の最下部に、「より良いウェブサイトにするため」のアンケートが表示されますが、このアンケートは、システム上自動的に表示されるもので本県民モニターアンケートとは無関係ですので、特にお答えいただく必要はありません。

入力を開始する

[このページのトップへ](#)

(1)家族の絆について

Q1

あなたの家庭の家族構成は、次の中のどれに当てはまりますか。1つ選んでください。

- 夫婦だけ
- 親と子ども
- 親と子どもと孫
- 一人暮らし
- 上記以外の家族構成

Q2

あなたが望ましいと思う家族構成を、次の中から1つ選んでください。

- 祖父母や孫が同居する大家族
- 親と子どもだけの家族
- 夫婦だけの家族
- 一人暮らし
- その他(下欄にお書きください)

- 特にない

Q3

あなたは、家庭はどういう場であってほしいですか。次の中から特に当てはまるものを3つ選んでください。

- 夫婦が仲良く暮らせる場
- 子どもを産み育てられる場
- 子どものしつけや教育ができる場
- 病気の看護や老後の介護をしてもらえる場
- 安らぎや愛情を与え合える場
- 悩みごとの相談や解決ができる場
- 経済的に安定した生活が送られる場
- 家族を社会の荒波から守れる場
- その他(下欄にお書きください)

- 特にない

Q4

あなたの家族や家庭で、現在、欠けている、あるいは、もの足りないと思うことがありますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 家族一緒に過ごす時間
- 家族同士の会話や連絡
- 家族共通の目標
- 家族同士の信頼感
- 親としての権威や親を敬う気持ち
- 安らぎ、憩える雰囲気
- 家族への関心や思いやり
- 個人のプライバシー
- その他(下欄にお書きください)

- 特にない

Q5

あなたは、最近気になっていることや心配事がありますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 子育てのこと
- 学校や教育のこと
- 夫婦関係のこと
- 病人や高齢者のこと
- お金のこと
- 仕事のこと
- 健康や体調のこと
- 住まいや周辺環境のこと
- その他(下欄にお書きください)

- 気になっていることや心配事はない

Q6

あなたは、心配事や悩み事があるとき、誰に相談しますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 親や子ども
- 配偶者
- 兄弟姉妹
- 祖父母や親戚
- 近隣の人
- 友人や恋人
- 学校の先生
- 職場の上司、先輩、同僚
- 専門のカウンセラーや相談員
- その他(下欄にお書きください)

- 誰にも相談はしない

Q7

あなたは、最近の日本の家族の「絆」や「まとまり」は、強くなってきていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 強くなってきている
- どちらかといえば強くなってきている
- どちらかといえば弱くなってきている【 Q7-2へ】
- 弱くなってきている【 Q7-2へ】
- わからない

Q7-2

Q7で「どちらかといえば弱くなってきている」「弱くなってきている」と答えた方にお聞きます。家族の絆の弱まりは、どのようなことに表れていると思いますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 家庭内暴力や虐待の増加
- 少年犯罪の増加
- 一人暮らし世帯の増加
- 離婚の増加
- 社会マナーの低下
- 親の権威の低下
- 家庭の教育力の低下
- その他(下欄にお書きください)

次へ

クリア

(2)家族の絆を深める取り組みについて

Q8

あなたには、現在、家族揃って行っている年中行事がありますか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- お正月
- 節分
- ひなまつり
- お花見
- 母の日
- こどもの日(端午の節句)
- 父の日
- お盆(帰省等)
- 敬老の日
- クリスマス
- 家族の誕生日
- 結婚記念日
- 子どもの学校関係行事(運動会など)
- 地区のお祭りなど伝統行事
- その他(下欄にお書きください)

- 特にない

Q9

この10月4日に開催された「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」の総会で、県民一人ひとりが家族・家庭について考え、きずなを深める契機とするため、各家庭が話し合い、最もふさわしい日を「家族の日」として取り組む気運を醸成していくことが決定されました。このことをご存知ですか。[\(参考資料 2:「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」の概要<別ウインドウで開きます>\)](#)

- 知っている
- 知らない

Q10

「家族の日」に関連して、上記推進会議の構成団体や活動趣旨に賛同する関係団体等により、各種キャンペーンの開催や広報啓発などの取り組みが予定されていますが、あなたご自身は、「家族の日」にちなんで何かしてみようと思いませんか。次の中から1つ選んでください。

- 思う【 Q10-2へ】
- 思わない【 Q10-3へ】
- わからない

Q10-2

Q10で「思う」と答えた方にお聞きます。それはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでも選んでください。

- 家族一緒に食事やレジャーに出かける
- 自宅で家族揃って食事をするなど一緒に過ごす時間をつくる
- 離れて暮らしている家族に連絡したり、会いに行く
- その他(下欄にお書きください)

Q10-3

Q10で「思わない」と答えた方にお聞きます。その理由として当てはまるものを次の中からいくつでも選んでください。

- 家族がいないから
- 特別に何かする必要を感じないから
- 自分や相手が仕事や勉強などで忙しいから
- それぞれ自分の趣味やつきあいがあるから
- お互いの時間を尊重しているから

普段から家族には連絡していないから

その他(下欄にお書きください)

Q11

家族や家庭の力を高める運動により多くの方々に参加いただくには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

家族についての作文や家族あての手紙のコンクール

家族についての絵画や写真、ビデオのコンクール

飲食店や文化施設などでの家族優待割引制度

家族一緒に参加できるイベント

家族同士や多世代が交流できるイベント

その他(下欄にお書きください)

特にない

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

(3)家族・家庭の力を高める取り組みで県などに期待することについて

Q12

家庭の力を高める取り組みについて、行政に期待することがありましたらご自由にお書きください。

次へ

クリア

[このページのトップへ](#)

広報広聴

広聴活動

更新日:2007年10月10日

参考資料1:ひょうご家庭応援プログラム2007

生きる力の根源となる家族、子どもが健やかに育つ場・家族の安らぎの場である家庭……。そうした家族・家庭をめぐる様々な問題が頻発する状況をふまえ、必要な人に必要な支援が届くよう、県の家庭応援施策を分かりやすく整理したプログラムを作成しました。

地域、職場や家族一人ひとりが力を合わせ、皆で家庭と一緒に応援していきませんか！

家族一人ひとりが家庭の力を高める

1 家族の絆を深めよう

- ・絆を深める取り組みを広げるために
- ・家族が体験や時間を共にするために

2 こころ豊かな子ども・青少年を育もう

- ・友だちの輪を広げるために
- ・地域や社会のことをもっと学ぶために
- ・自然とふれあうために
- ・芸術・文化とふれあうために

3 子育てを楽しみ、親として成長しよう

- ・子育て拠点を活用して仲間づくりを広げるために
- ・子育てスキルを高めるために
- ・父親が子育てについて学ぶために
- ・多様な支援を使って愛情と責任を持って子育てをするために

4 家族や地域を支える高齢者になろう

- ・「学び」を通して自らを高めるために
- ・家族や地域を応援する活動をするために



地域・まち・職場が応援して、家庭の力を高める

5 家族を地域で支えよう

- ・地域ぐるみで子育てを応援するために
- ・子育て拠点が核となって地域の力を高めるために
- ・地域で介護を応援するために
- ・「食」や「健康」を通して家族を応援するために
- ・家族を支える地域の力をつなくために

6 家族にやさしい住まいづくり・まちづくりを進めよう

- ・子育てしやすい住まい・まちで暮らすために
- ・多世代が共に支え合う住まい・まちで暮らすために
- ・暮らしやすい住まいづくり・まちづくりに取り組むために

7 家庭生活と調和した働き方を広げよう

- ・家庭を応援する事業所の取り組みを進めるために
- ・一人ひとりの働き方を見直すために

家族が安心して暮らせる基盤をつくる

8 多様な相談窓口を用意します

9 様々な問題に対するセーフティネット

(問題の深刻化を防ぐ仕組み、解決を支援する仕組み等)を用意します



より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

1:役に立った 2:ふつう 3:役に立たなかった

質問:このページの情報は見つけやすかったですか?

1:見つけやすかった 2:ふつう 3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名:県民政策部知事室広聴課
- 電話:078-362-3021
- FAX:078-362-4291
- Eメール:kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)

| [リンク集](#) | [県ホームページについて](#) | 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号 電話078-341-7711(代表) 地図は[こちらへ](#)

広報広聴

広聴活動

更新日:2007年10月10日

参考資料2:「こころ豊かな美しい兵庫推進会議」の概要

県民一人ひとりの参画と協働の考え方を広く呼びかけるとともに、多様な地域に多彩な文化と豊かな暮らしを築き、すべての人々にこころ豊かに生きる感動を与える美しい兵庫をめざす県民運動を提唱。構成団体をはじめとする多様な主体が自ら地域課題を発見し、課題に応じて重層的なネットワークを築きながら連携・協働して地域課題に取り組むことにより“こころ豊かな美しい兵庫”の実現を図ることを目的としている。

昭和55年9月、生活文化県民運動推進協議会として設立、平成15年6月、現名称へ変更。自治会や婦人会をはじめとした121団体で構成。会長は、野尻 武敏氏((財)ひょうご震災記念21世紀研究機構会長・神戸大学名誉教授)

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

質問:このページの情報は役に立ちましたか?

1:役に立った 2:ふつう 3:役に立たなかった

質問:このページの情報は見つけやすかったですか?

1:見つけやすかった 2:ふつう 3:見つけにくかった

送信

このページの掲載内容に関するお問い合わせ

- 部署名:県民政策部知事室広聴課
- 電話:078-362-3021
- FAX:078-362-4291
- Eメール:kocho@pref.hyogo.jp

[このページのトップへ](#)